

引っ越し前 最後の茶会

26期 岡田 美乃利

私も高齢となり、体が元気なうちにと一大決心して6月9日に西宮市に住む長男の近くに引っ越しました。引っ越し先はJR西宮駅から徒歩1分のマンションです。

私は定年後に富山の自宅の庭に茶室を建てて趣味の茶を楽しんで来ましたが、引っ越すに際して、それまで毎月行っていた仲間と最後の茶会を開きました。この内容が5月20日付け富山新聞に掲載されました。

大阪を離れて50年振りに戻って来ましたが、何もかも変わっていて戸惑うことが多いです。



富山新聞 2020年5月20日掲載
第3種郵便物認可

20.5.20 富山新聞 富山 新

引っ越し前 最後の茶会

富山・水橋 岡田さん宅の茶室

住民憩い14年「寂しいね」

富山市水橋島等の岡田美乃利さん(76)方の庭にある茶室で行われていた茶会が19日、最後を迎えた。14年間にわたり、住民の憩いの場として親しまれてきたが、岡田さんが来月、県外へ引っ越すため、最終回となった。同日は6人が最後の一服を楽しみ、「寂しいね」と別れを惜しんだ。

岡田さんは旧宇奈月町出身で、1993年に水橋に引っ越し、定年退職後、趣味で茶を始めた。京都の茶室を巡るうちに自宅に趣のある茶室がほしいと思い、2006年に一念発起して建築した。富山市の内山邸や旧知事公館を参考とし、約30平方メートル、にじり口を設け、京都北山杉の床柱を用いるなど本格的な造りにした。

以来、住民が世間話に花を咲かせる場として毎月5、6人が集まり、茶を味わってきた。しかし、岡田さんも高齢となり、体が元気がなつちに、兵庫県西宮市に住む長男のそばに引っ越すことを決めた。家と茶室は売りに出すという。

4月の茶会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止を余儀なくされたが、今月は新たな感染者も減り、屋外の不要不急の外出自粛制限が解除されたこともあり、実施することにした。

19日は換気に気を付けながら、参加者が思い出話に花を咲かせた。茶会に通ったこと、思い出話に花を咲かせる岡田さん(左)と参加者

岡田さんは6月9日に富山を旅立つ。茶室を通じて大切な仲間ができたとして、「この茶室では最後となるが、皆さんとはまた、どこかで茶を楽しみたい」と名残を惜しんだ。